



秋の行楽釣行にシロギスはいかが

東京湾奥横浜本牧出船

撮影◎鈴木良和

▶釣り場は中ノ瀬の15メートルダチ



★慣れた人はスピニングタックルでキャストして数をのばした



▲当日最大24センチを手にした和深柔美さん

▲竿先をたたく小気味いい引きがたまらない



▲胴つき仕掛けで楽しんでいた和深さん



▲太ったキスは天ぷらが最高



▲ベイトタックルと胴つき仕掛けで船下を狙った外山さん



▲小型はほとんど交じらない
▶飛距離のあるキャストとスムーズな手返しで数をのばした北村さん



▶中学一年の豊田陽太(ひなた)くんがシロギス、メゴチ、アジ、イシモチを釣り上げ大活躍
◀父親の豊田さんは良型連発

◀イイダコもシーズン間近



▲仕掛けはテンピン式、胴つき式をお好みで。オモリ15号、エサはアオイソメ



東京湾の小物釣りの代表格といえばシロギス。出船スタイルは短時間で手軽に楽しめる半日船、たつぷりキスの引きを満喫できる一日船など様々があるが、取材した東京湾奥横浜本牧の長崎屋はほどよく釣りを楽しめる実約5時間のショート船。出船時刻が午前8時とゆっくりめに設定されているので初心者や早起きが苦手な人にも好評だ。

目下の釣り場は中ノ瀬の水深15メートル前後が中心で、特筆すべきはキスの型のよさ。釣れるのは20センチ級の良型主体で引き味は満点、良日はトップ60〜80尾という好模様。慣れていない人でも10〜20尾前後は釣れるから、ビギナーや子供連れで楽しむ秋の行楽釣行にもおすすめです。(詳細は58ページ参照)



◎東京湾奥横浜本牧 長崎屋・長崎 功船長